

様式3

平成18年度 傾斜的研究費(特定)(全学分)(戦略分・公募分)研究報告書

研究テーマ区分 [①都市形成に関わる研究] ②特徴ある教育プログラム開発をめざす研究]

研究課題名	購買の意思決定の研究：大都市東京の消費活性化への一視点		
研究者または研究代表者名	所属部局名	職 位	
長瀬 勝彦	経営学系	教授	
研究分担者名	部局名・所属研究機関名	職 位	
(なし)			
研究実績の概要（600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。）			
<p>規範的意思決定論に立脚すれば、選択肢が多いほど、その中に効用の高い選択肢が含まれる確率が高いので、意思決定者にとっては選択肢は多い方が望ましい。ところが購買の意思決定に関する行動意思決定研究の分野の過去の研究では、選択肢が多くなると、かえって迷って選択ができなかったり、決定した後の後悔が大きくなったりすることがあることが発見された。われわれは、この現象を解明すべく実験をおこなった。学生被験者を選択肢が3個、10個、20個の条件に振り分け、仮想的な購買の意思決定をしたうえで、満足度などを回答してもらった。その結果、有意な差は見出されず、仮説は棄却された。なおこの研究はゼミの学生との共同研究である。</p>			
研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]			
著者（講演者）	論文題目（発表題目）	発表誌（発表大会名）	年月
	(該当なし)		